

県・各地域視聴覚ライブラリー

平成24年度 映像教材活用事例(後期)

県視聴覚ライブラリー、各地域視聴覚ライブラリーの映像教材を活用した学習や研修会の事例を収集しました。学校教育や社会教育、生涯学習、地域活動で映像教材を取り入れた学習や研修会等を計画する際の参考としてください。

県内の視聴覚ライブラリー保有教材の検索方法

映像教材の借用方法・各地域ライブラリー連絡先

映像教材活用事例

【分類 学：学校教育 社：社会教育 職：職場・職員研修 他：その他】

分類	学習・研修会	映像教材名	事例提供団体等
学	学校保健委員会	「ケータイ・ネット社会の落とし穴 Vol.1 ネット社会の道しるべ」	鹿児島市立平川小学校
学	人権集会	「いじめはゼツタイわるい」	いちき串木野市立串木野小学校
社	社会教育学級	「プレゼント」	十島村立宝島小・中学校小宝島分校
社	高齢者学級	「裸の大将放浪記」	立神・桜山・金山校区高齢者学級
学	学校保健委員会	「薬物乱用と薬物依存」	南九州市立大丸小学校
学	交通安全教室	「ニャンダーかめんの交通安全」	南さつま市役所総務課
学	避難訓練	「温暖化時代の豪雨災害 その時あなたは身を守れるのか？」	出水市立大川内小学校
学	学級活動	「目ってだいじだね」「目が悪くなるのはなぜ？」 「近視・乱視・遠視 それぞれの見え方」	霧島市立佐々木小学校
社	パソコン基礎講座入門編	「見えない悪意」	霧島市メディアセンター
学	交通安全教室	「オズの魔法使いの交通安全の旅」	霧島市役所総務部
社	交通安全教室	「楽しく街にでましょう」	霧島市役所総務部
社	高齢者学級	「生きる行動生きる備え」	曾於市大隅町7校区高齢者学級
他	鹿屋市教頭研修会	「めぐみ」	鹿屋市教育委員会
社	高齢者大学	「ひとみ輝くとき」	垂水地区公民館
社	ふれあい学級	「中高年のための健康教室 老後をすこやかに過ごすために」	錦江町教育委員会
学	人権集会	「ありがとう」	中種子町立星原小学校
学	避難訓練	「津波からにげる」	中種子町立油久小学校
学	人権教室	「私たちの人権宣言 転校生はおばあちゃん!？」	宇検村立久志中学校

事例を提供して下さった学校，教育委員会，教育事務所，各種団体の皆様，御協力ありがとうございました。

視聴覚ライブラリー教材を
利用しませんか？

映像を取り入れた学習は...

おもしろい！楽しい！よく分かる！



社会教育や学校教育，職場研修等で活用できます

親子・子ども映画会
高齢者の学習
青少年・女性団体の活動
PTA研修
家庭教育学級

教科指導
総合的な学習の時間
学校行事

などの場で

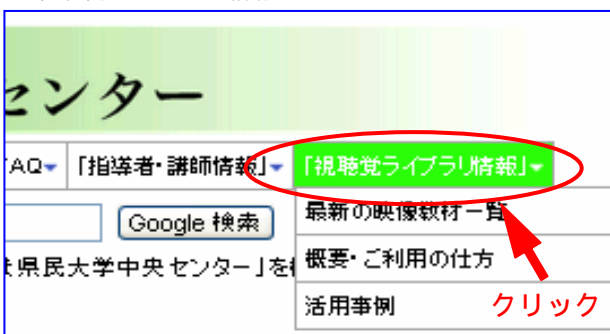
男女共同参画
健康・安全
食，環境，性，生き方
福祉・ボランティア
人権 などの内容に関する教育・研修で

県内の視聴覚ライブラリーが保有している教材を検索できます

1 かがしま県民大学中央センターのホームページを開く



2 「視聴覚ライブラリー情報」をクリック



3 検索画面でキーワードを入力して「検索」をクリック

視聴覚ライブラリー情報

キーワード

● キーワード(名前など) 以下の言葉の 全て どれかを含む

● テーマ(チェックボックスを選択して下さい)

生涯学習 国際交流 男女共同参画 介護の実習・普及 共生・協働・ボランティア・NP

● 分類 ▼ 選択

● 対象者

幼児 小学生 中学生 高校生 青年 女性 成人 高齢者 その他

● 制作年度(年度を記入するか、プルダウンメニューから選択して下さい)

年 ▼ 期間をお選び下さい。 ▼ 選択

● 教材の種類(チェックボックスを選択して下さい)

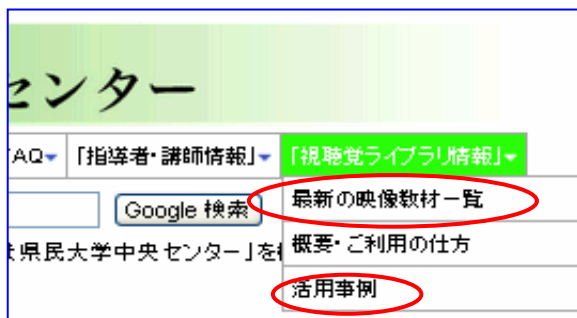
映画フィルム ビデオテープ DVD スライド レコード CD 録音テープ

OHP パソコンソフト 紙芝居 その他

クリック

県視聴覚ライブラリーが保有している教材を検索する場合
検索キーワード「交流センター」を入力して検索
(電話での問い合わせも可 裏面参照)
例：県視聴覚ライブラリー保有で「ケータイ」に関するDVDの検索

教材選びの参考資料をご覧いただけます



かごしま県民大学中央センターホームページでは

- 「最新映像教材一覧」
- 「よく利用されている教材一覧」(ジャンルごと)
- 「映像教材活用事例」

をご覧いただけます。教材を選ぶ際の参考資料とさせていただきます。

教材利用の手続きは簡単です

「学校・団体名」、「教材名」、「利用する期日(期間)」を連絡し、利用できるか確認してください。(他の学校や団体が借用中で、利用できない場合もあります)

予約は3か月前から受け付けます。教材利用が決まったら早めに連絡してください。

市町村立・私立小中高等学校，社会教育関係団体及び事業所等（職場研修）での利用

所在の市町村教育委員会またはお近くの地域視聴覚ライブラリーへご連絡ください。

	名称	電話番号	構成市町村
1	鹿児島市立学習情報センター	099-227-1925	鹿児島市
2	指宿市視聴覚ライブラリー	0993-23-5100	指宿市
3	枕崎市立視聴覚ライブラリー	0993-72-0170	枕崎市
4	南九州市視聴覚ライブラリー	0993-83-2111	南九州市
5	南さつま市立視聴覚ライブラリー	0993-53-2111	南さつま市
6	日置市視聴覚ライブラリー	099-273-2111	日置市
7	いちき串木野市視聴覚ライブラリー	0996-21-5128	いちき串木野市
8	さつま町視聴覚ライブラリー	0996-53-0900	さつま町
9	薩摩川内市立視聴覚ライブラリー	0996-22-3542	薩摩川内市
10	霧島市メディアセンター	0995-64-0919	霧島市
11	始良市視聴覚ライブラリー	0995-62-2111	始良市
12	湧水町視聴覚ライブラリー	0995-75-2142	湧水町
13	曽於地区視聴覚教育協議会	099-482-2647	曽於市，志布志市，大崎町
14	出水地区視聴覚教育協議会	0996-84-2369	阿久根市，出水市，長島町
15	伊佐市視聴覚ライブラリー	0995-22-1613	伊佐市
16	肝属東部地区視聴覚教育協議会	0994-65-2594	肝付町，東串良町
17	錦江町視聴覚ライブラリー	0994-22-0517	錦江町
18	南大隅町視聴覚ライブラリー	0994-24-3111	南大隅町
19	垂水市視聴覚ライブラリー	0994-32-0224	垂水市
20	鹿屋市立図書館(視聴覚)	0994-43-9333	鹿屋市
21	奄美群島広域事務組合視聴覚ライブラリー	0997-52-6032	奄美市，大島郡各町村
22	西之表市立視聴覚ライブラリー	0997-23-2741	西之表市
23	中種子町立視聴覚ライブラリー	0997-27-1111	中種子町
24	南種子町立視聴覚ライブラリー	0997-26-1111	南種子町
25	屋久島町立視聴覚ライブラリー	0997-46-3221	屋久島町
26	鹿児島郡視聴覚連盟	099-222-3141	三島村，十島村

県立学校，国立学校，大学・短期大学，県教育機関での利用

県視聴覚ライブラリー事務局(かごしま県民大学中央センター)へご連絡ください。電話099-221-6606

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	鹿児島市立平川小学校		
学習・研修会名	学校保健委員会	対象者	保護者23名
学習・研修内容	保健に関する生活習慣を改善しよう。		
映像教材名	「ケータイ・ネット社会の落とし穴 Vol.1 ネット社会の道しるべ」	種類・時間	DVD 25分
映像教材の概要	本教材は、小学校高学年から中学生を中心とした子どもたちに、インターネットに関するトラブルを避け、賢くインターネットを活用してもらうようになることを目的としている。		
教材借用先等	鹿児島市立学習情報センター		
映像教材活用の実際	<p>1 調査資料等による問題意識の高揚</p> <p>(1) アンケート調査分析 保護者・子どもの両者に実施した生活習慣に関するアンケートの中の「ゲーム機を使う際のきまりはあるか」の結果に焦点を当て、両者を比較する。</p> <p>(2) 携帯・ネット社会の現状理解 ゲーム機でもネット対戦ができることや自分専用の携帯を持っている児童が増えていることを取り上げ、身近な問題であることを意識づける。</p> <p>2 映像教材視聴及び感想発表</p> <p>(1) 「ネット社会の道しるべ」(25分)を視聴する。 (2) 視聴後、感想を発表し合う。 (3) まとめ</p> <p>3 学校医の講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活・保健の両面を踏まえた内容 ・保護者と子どもには意識のずれがあることの確認 <p>4 学習のまとめをする。</p>		
成果・課題	<p>携帯・ネット社会に関する学習は、生徒指導事例として取り扱われることが多いが、心の問題とか健康への影響という視点からもこのことについて議論することができることが分かった。</p> <p>今回、保健に関する生活習慣の実態を押さえた上で、このDVDを視聴したので効果的であったが、何を目的に視聴するのかを明確にしておかないと学校保健委員会で視聴する意味が薄れるので注意したい。</p>		




映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	いちき串木野市立串木野小学校		
学習・研修会名	人権集会 12月3日～12月21日	対象者	小学生
学習・研修内容	人権週間「いじめについて考える」		
映像教材名	「いじめはゼツタイわるい」	種類・時間	VHS 18分
映像教材の概要	いじめられていた高校生が、現在いじめられている小学生を励まし、その小学生が敢然といじめに立ち向かっていく姿を描いている。		
教材借用先等	いちき串木野市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>1 人権について話を聞く (1) 人権とはなにか知っていますか。 (2) いじめとはどういうことですか。 (3) 私たちの周りにいやだと思えることはありますか。</p> <p>2 映像教材を視聴する 「いじめはゼツタイわるい」</p> <p>3 考えたことについて話し合う (1) 思ったこと・考えたことは何ですか。 (2) 友だちの考えを聞いて考えたことはどんなことですか。 (3) これまでの生活を振り返ってみましょう。</p> <p>4 まとめをする (1) 許されないこと・許してはいけないことはなにか。 (2) 自分が気をつけていかなければならないことはなにか。 (3) みんなで大切にしていかなければならないことはなにか。</p>		
成果・課題	<p>< 成 果 ></p> <p>1 いじめについて理解を深めるとともに、いじめは絶対に許されないことやいじめに立ち向かう気持ちのもち方等を学年の発達段階に応じて考えることができた。</p> <p>2 友だちの考えに共感したり、自分の日常生活においてはどうかについて考えたりすることができた。</p> <p>3 自分や自分たちの言動を振り返り、上手なコミュニケーションの取り方について考えることができた。</p> <p>< 課 題 ></p> <p>道徳や特別活動はもちろん、すべての教育活動でさまざまな機会にいじめにつながるような出来事や人権にかかわる出来事などがなく、働きかけ続けることが大切である。</p>		



映像教材活用事例（後期）



事例提供団体等名	十島村立宝島小・中学校小宝島分校		
学習・研修会名	人権教室(社会教育学級)	対象者	小2～6，保護者・地域の方
学習・研修内容	人権教室		
映像教材名	「プレゼント」	種類・時間	DVD 17分
映像教材の概要	<p>小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントするが、それは美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それから綾香にいじわるを始める。やがて、クラス中が綾香を仲間はずれにするようになったが、クラスで孤立していた麻里だけが綾香をかばう。</p>		
教材借用先等	鹿児島地方法務局人権擁護課 人権擁護委員協議会事務局		
映像教材活用の実際	<p>1 導入 《平成24年12月6日実施》 「学校生活の中でどういう時に楽しい気持ちになり、どういう時に嫌な気持ちになりますか。」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活における自分の経験を振り返る。 ・ みんなと楽しく過ごしたいと分かっているけど嫌な気持ちになることがある。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 学習課題 みんなが毎日楽しく過ごすにはどんな心が大切だろう。 </div> </p>		
	<p>2 展開</p> <p>(1) DVD「プレゼント」の前半部分を見る。</p> <p>(2) DVDを見て登場人物の関係性をとらえ、後半部分を予想する。</p> <p>(3) DVDの後半部分を見て感想を記入し、発表する。</p>		
成果・課題	<p>3 まとめ</p> <p>(1) 「人権」という言葉について確認する。</p> <p>(2) 人権に関する標語、詩を紹介する。誰もが平等にもっている、人として生きていく権利を考えさせると共に、今後の学校生活の過ごし方を各自考えさせる。</p>		
	<p>1 成果</p> <p>(1) 少人数なので、子ども同士の関係性が固定されてしまいがちな中で、相手を思いやる気持ちを確認することができた。</p> <p>(2) 映像教材を活用することで、登場人物の心情に共感し、思いやりの気持ちについて考えることができた。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 初めての異年齢合同授業だったので、学習活動に戸惑う児童も見られた。</p> <p>(2) 3学期に「思いやり」や「人権」についての学習を行う際、今回の授業と系統立てて計画する必要がある。</p>		

映像教材活用事例（後期）



事例提供団体等名	立神・桜山・金山校区高齢者学級		
学習・研修会名	高齢者学級	対象者	学級生
学習・研修内容	高齢者問題，人権学習		
映像教材名	「裸の大将放浪記」	種類・時間	DVD・117分
映像教材の概要	<p>山下清の表面的なイメージだけでなく，その少年時代，知的障がい児の苦難，その才能を辛抱強く指導した八幡学園の教師をはじめとする周囲の努力，そして有名になりすぎた晩年の悲哀など，生涯にわたる人間関係を追いながら，“人間山下清”を浮き彫りにした感動作である。</p>		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>1 本日の研修内容・進め方を確認する。 ビデオ視聴をとおして，人権問題（障がい者差別）について考える。</p> <p>2 ビデオフォーラム</p> <p>(1) 視聴前 あらすじ，登場人物について簡単な説明をする。</p> <p>(2) 視聴 「裸の大将放浪記」を視聴する。</p> <p>(3) 視聴後</p> <p>ア 各自の感想や意見を発表し合う。 ～いっしょに考えてみましょう～</p> <p>(ア) 知的障がい者に対する偏見や固定観念等を取り除くにはどうしたらよいか。 (イ) 障がい者差別や偏見における問題点は何か。 (ウ) 障がい者差別の問題解決にはどんなことが必要か。 (エ) 障がい者の知恵や幾多の困難を乗り越えた経験を十分に活用できる環境をつくり，人権を尊重して共に生きていく社会を創っていくにはどんなことが必要か。</p> <p>イ これまでの自分を振り返り，今後どのように行動していくかを考える。</p>		
成果・課題	<p>ビデオ視聴中は，よく知っている俳優が出演しているため，ストーリーに入り込めた。</p> <p>自分たちのこととして捉える人が多かった。</p>		



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	南九州市立大丸小学校		
学習・研修会名	学校保健委員会	対象者	保護者
学習・研修内容	青少年の健全育成のための研修		
映像教材名	「薬物乱用と薬物依存」	種類・時間	DVD 19分
映像教材の概要	近年の薬物乱用の特徴が低年齢化と女性への浸透と言われる現状を踏まえ、たった一度だけでも薬物乱用すると、身体にどのような影響を与えるのか、なぜ、薬物乱用が法律上、厳しく罰せられるかを詳しく調べ、乱用薬物に対して正しい知識を身につける内容となっている。		
教材借用先等	県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p style="text-align: center;">【学校保健委員会での映像教材活用までの実際】</p> <p>1 本校の第3回学校保健委員会のための映像教材を南九州市教育委員会社会教育課を通じ、県視聴覚ライブラリーに依頼する。</p> <p>2 映像教材として、「薬物乱用と薬物依存脳をだめにする薬物」(DVD)、「薬物に奪われた青春」(VHS)、「なくした自由 一度の好奇心からはじまる一生の闘い」(VHS)の3本を借用する。</p> <p>3 事前に職員で3本とも視聴し、学校保健委員会用を1本選定する。</p> <p>4 学校保健委員会の実施 (平成25年2月14日 15:05 ~ 15:50) 「薬物乱用と薬物依存」(DVD)を保護者と職員で視聴する。</p>		
	 	<p>【学校保健委員会での視聴】</p>	
成果・課題	<p>(成果) 大麻や覚醒剤の種類を知ることができた。 たばこやアルコールも薬物乱用に関係があることが分かった。</p> <p>(課題) 児童の発育に即して、家庭でどのように指導していくか、研修をさらに深めていくことが必要である。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	南さつま市総務課総務交通係（交通安全専門指導員）		
学習・研修会名	加世田聖母幼稚園交通安全教室	対象者	園児70人
学習・研修内容	就学前園児の交通安全指導		
映像教材名	「ニャンダーかめんの交通安全」	種類・時間	DVD・12分
映像教材の概要	<p>交通ルールを熟知している『ニャンダーかめん』が、仲間の「助けてーっ！」の声に、現場に急行し 飛び出しは絶対しない 道路で遊ばない 自転車の2人乗り、片手・手放し運転はしない 横断歩道の渡り方 信号機のない横断歩道の渡り方 車は急に止まらない 等を分かりやすく教える。</p>		
教材借用先等	南さつま市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	1 ビデオ放映前		
	<p>(1) 腹話術により、3つの大切な約束（道路にとび出さない、道路で遊ばない、シートベルトカッチン）を復習させ、更に、子どもの交通事故の一番の原因が『飛び出し』であることを認識させた。</p> <p>(2) 横断歩道を渡ることの大切さを認識させた。</p> <p>(3) 信号の種類と意味について、分かりやすく教えた。</p> <p>(4) 車は急に止まれないことを教えた。</p>		
	2 ビデオ放映 「ニャンダーかめんの交通安全」		
	3 ビデオ放映後		
	<p>(1) 飛び出しの危険を熟知させるため、ボールを道路に転がして園児の反応を試し、間違いはその場で正した。</p> <p>(2) 正しい横断歩道の渡り方について、右手を大きく上げる意味、右・左確認後、更に右を確認する意味、止まってくれた車へのお礼を教示した。</p> <p>(3) 青信号でも右・左の安全確認をしてから、横断することの意味を教示した。</p> <p>(4) 車は急に止まれないので、道路で遊ばないことを教示した。</p> <p>(5) 青信号の点滅はすぐ赤信号に変わるので、絶対に渡らないことを教示した。</p>		
成果・課題	<p>1 道路に転がったボールについて、年少園児は行きの確認のみにとどまったが、年中・年長園児にあっては行き帰りの確認を確実にやり、「飛び出しの危険」のビデオ効果があった。</p> <p>2 年長園児にあっては、信号の意味を理解し、横断歩道の渡り方も概ね良好であり、ビデオ視聴の効果が見られた。</p> <p>3 信号の種類と意味については、園児全員が概ね理解しており、成果が見られた。</p> <p>4 横断歩道の渡り方について、特に年少・年中園児には、反復・継続・訓練の必要を感じた。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	出水市立大川内小学校		
学習・研修会名	風水害緊急時避難訓練	対象者	全校児童
学習・研修内容	命を守る～風水害の際の避難～		
映像教材名	「温暖化時代の豪雨災害 その時あなたは身を守れるか?」	種類・時間	DVD・20分
映像教材の概要	近年、温暖化現象によると考えられる局地的な集中豪雨が頻繁に発生している。それに伴って増加する豪雨災害。作品では、自主防災組織の活動や、降雨量の比較、ドア模型や階段模型を使った実験で、豪雨災害への対策を分かりやすく解説している。		
教材借用先等	出水地区視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 各学級で下校指導を入念に行い、安全にパソコン室に移動する。 2 全体指導を行う。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本時の目的について・・・風水害（大雨・洪水・台風）に対して、安全に下校するための心構えや態度を身に付ける。 3 映像教材視聴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 映像を見る際のポイントや概要について説明し、映像を視聴する。 (2) 全職員は、今後の避難方法について、学校長の指示を受け、各家庭に連絡を行い、保護者の緊急連絡先に連絡を確実にとることができるか確認をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 緊急避難時下校訓練です。大雨のため、早めの下校をすることに決まりました。つきましては、保護者の迎えをお願いします。（緊急時このような連絡を行いますのでよろしくお願いします。）</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> (3) 各担任は、全保護者に連絡をとることができたかを教頭に報告する。 (4) 映像教材を見て思ったことや考えたことを発表し、今後どのように行動することが大切か話し合う。 (5) 学校長の話聞く。 (6) 各教室で学級担任は、まとめと指導を確実に行う。 (7) 今日学んだことについての感想を書く。 (8) 学習のまとめをする。 		
成果・課題	<p>(成果)</p> <p>担任が実際の緊急時に保護者に確実に連絡をとることができるのかを確認でき、併せて本校の避難方法についても各保護者に理解をしてもらうことができた。</p> <p>(課題)</p> <p>避難経路や避難方法については、指導は重ねて行ってはいるものの、実際の緊急避難時における行動が可能かどうかということについては、さらに指導を行っていきながら、自らの適切な判断で避難できるような児童の育成を図ってきたい。</p>		



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	霧島市立佐々木小学校			
学習・研修会名	学級活動	対象者	全児童	
学習・研修内容	保健指導「目に関する指導」			
映像教材名	目シリーズ（アーニ出版） 「目ってだいじだね」（目の役割） 「目が悪くなるのはなぜ？」（目の構造・目と姿勢） 「近視・乱視・遠視 それぞれの見え方」	種類・時間	VHS・12 VHS・13 VHS・13	
映像教材の概要	<p>目に対する配慮を引き出せるよう、理解力に 応じて人形や実験を駆使。DSやファミコンゲ ーム、インスタント食品などますます悪化する 「目」を取り巻く環境の実態と対策を、子ども たち自身が実感をもって気づくように構成され ている。</p> <p>テレビを見る時や本を読む時の正しい姿勢、 視力検査とメガネの必要性、バランスのとれた 食生活の大切さを教え、目の病気の注意につ いても強調されている。</p> <p>近視・遠視・乱視それぞれどう見えるかを比 較。精密な模型で目の構造と見えるしくみを説 明している。</p>			
教材借用先等	霧島市メディアセンター			
映像教材 活用の 実際	【学級活動におけるビデオの活用】			
	学年	主題名	ねらい	主な活動内容
	1・2年	きれいな目	簡単な目のしくみや役目について知り、目を大切にするためにはどんなことに気をつければよいかを考える。	目のしくみと役割（眉、まつげ、まつ毛、まぶた、瞳） 目を大切にするために気をつける事柄 ビデオ「目ってだいじだね」 視聴
	3・4年	目を大切に	目の衛生について関心を深め、日常生活において目を大切にする習慣を身につけさせる。	目の病気について 涙のはたらき 目と姿勢について ビデオ「目がわるくなるのはなぜ？」 視聴
5・6年	目のしくみを知ろう	目のしくみを理解させ、視力低下の予防について考えさせる。また、屈折異常の種類と見え方について理解させる。	目の構造について（角膜、水晶体、結膜、網膜など） ドライアイについて 屈折異常（近視・遠視・乱視・斜視） ビデオ「近視・遠視・乱視」 視聴	
成果・課題	<p>10月の「目の愛護月間」という社会的行事にあわせ、児童自身が目に対する関心をもち、正しい知識を深め、目にやさしい生活習慣について学ぶことができた。</p> <p>このビデオ教材は、低学年向け 中学年向け 高学年向けというように、発達段階に応じた内容で構成されており、指導に大変役立てることができた。</p> <p>パソコン学習時の目への配慮、3D映像による子どもの目への影響についても指導する必要がある。</p>			



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	霧島市メディアセンター		
学習・研修会名	パソコン基礎講座入門編	対象者	一般市民
学習・研修内容	パソコンに関する基本的な操作を中心とする講座		
映像教材名	「見えない悪意」	種類・時間	DVD・28分
映像教材の概要	<p>予備校に勤める主人公（香織）は、ホームページの管理者。セキュリティには注意していたつもりだったが、知らぬ間にウイルスに感染されてしまう。香織を叱責した上司は、自身の不用意な USB メモリの使用によってオフィスのパソコンを危険にさらしていることを知らなかった。一方香織の弟は、知らない相手からのメールで「ウイルス対策ソフト」の購入を勧められ、ダウンロードしたことによりカードの情報を盗まれ、勝手に使われてしまう。</p>		
教材借用先等	霧島市メディアセンター		
映像教材活用の実際	1	映像を見る視点の共有化 どんなことが問題か？ 何に気をつけるべきか？ もし、そうなったらどうするか？ （ねらい） 同じ視点で映像教材を見ることによって、パソコンやインターネットを利用するときの留意点について具体的な事例で学習し、これからパソコンを利用していく上でのセキュリティ意識を高める。	
	2	映像視聴「見えない悪意」	
	3	全体での学習 3つの視点で映像を見た感想を共有し、インターネット利用の留意点について、「情報の受け手として」、「情報発信者として」の2つの視点で学習するとともに、パソコン利用全般の留意点についても知らせる。	
	4	インターネット体験 セキュリティとフィルタリングで守られた環境でインターネットを実際に体験する。	
	5	学習のまとめ インターネット利用とパソコン全般の利用についての留意点を振り返る。	
成果・課題	（成果） 映像教材で様々なトラブル事例を具体的に学習することによって、ウイルス対策をしなければならないという意識を高めることができた。 USBなどの記憶媒体でウイルスが感染することを知らせることができ、USBやSDカード等のウイルスチェックの方法を伝えることができた。 知らない相手からのメールを開くとどうなるか、安易に個人情報を入力するとどうなるかなども映像によって、危険性を実感させることができた。 （課題） 映像教材で触られていない著作権や肖像権についても、別資料を準備して学習させる必要がある。		



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	霧島市役所総務部安心安全課交通防犯グループ		
学習・研修会名	交通安全教室	対象者	園児
学習・研修内容	命の大切さ		
映像教材名	「オズの魔法使いの交通安全の旅」	種類・時間	VHS・12分
映像教材の概要	<p>「オズの魔法使い」のキャラクターを使った楽しい交通安全教材である。やんちゃな少女のドロシーやカカシ、ブリキの人形、ライオンのおなじみのキャラクターたちが、不思議なオズの魔法の世界で交通ルールの基本を学んでいく物語</p>		
教材借用先等	霧島市メディアセンター		
映像教材活用の実際	<p>1 目的 歩行者としての基本的な交通ルールを遵守し、日常生活において安全に道路を通行するために必要な基本的な知識を習得させる。 命の大切さを問い直し理解させる。</p> <p>2 ビデオ視聴「オズの魔法使いの交通安全の旅」 3つの視点でビデオを視聴させ、主人公と一緒にクイズを考えさせる。 (1) 道路はどちらを歩くの？ (2) 横断歩道のある道路はどうやって渡るの？ (3) 信号のある交差点はどうやってわたるの？</p> <p>3 まとめ ビデオ内容を基に交通安全の重要性を認識させるとともに、内容事項を園児たちに質問することで学習内容を振り返り、交通ルールの定着を図る。</p>		
成果・課題	<p>命の大切さ、命は一つしかない、一人一人が自分の命を守っていくことの大切さについて学習することができた。</p> <p>主人公がクイズを解きながら、オズの魔法使いが交通安全のポイントを解説し、園児たちも主人公と一緒にわくわくしながらクイズに挑戦し、交通安全について大切なことを理解することができた。</p> <p>楽しい歌に合わせて、学習内容を振り返ることができ、交通ルールの定着を図ることができた。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	霧島市役所総務部安心安全課交通防犯グループ		
学習・研修会名	交通安全教室	対象者	高齢者
学習・研修内容	高齢者が被害者や加害者にならないように、交通安全に対する規範意識や交通道德の高揚を図る。		
映像教材名	「楽しく街にでましょう」	種類・時間	DVD・23分
映像教材の概要	街に出て交通事故に遭うことは悲しいことである。だからといって家に閉じこもっては楽しくない。高齢者が自分の身体の変化を自覚し、それに応じた交通ルールを学べる。		
教材借用先等	霧島市メディアセンター		
映像教材活用の実際	<p>1 目的</p> <p>歩行者、自転車、車の運転利用者として必要な知識及び技能を習得させるとともに、道路及び交通状況に応じ安全に歩行・走行する安全意識及び交通道德の高揚を図る。</p> <p>高齢者が被害者となる事故が依然として多い現況にあるため、交通安全に対する規範意識を高めることの重要性を再認識させる。</p> <p>2 ビデオ視聴「楽しく街にでましょう」</p> <p>4つの視点でビデオを視聴させる。</p> <p>（1）こんなことはありませんか？</p> <p>（2）なぜ事故に遭うのか？</p> <p>（3）自分の身体を知る方法はどんなものですか？</p> <p>（4）どう行動したらよいのだろうか？</p> <p>3 まとめ</p> <p>ビデオ内容を基に交通事故に遭わずに健康な日々が送れるよう、交通ルールの大切さを全員で再認識する。</p>		
成果・課題	<p>歩行者にとっては、法令違反、運転者の人的事故要因は、漫然運転、脇見運転による発見の遅れがそれぞれ7割を占有していることから、早期危険予知能力を高めることが必要であることを認識・自覚していただくことができた。</p> <p>高齢者の中には音声が届きにくい方が結構いらっしゃるようで、音量について留意する必要がある。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	曾於市大隅町7校区高齢者学級		
学習・研修会名	第9回高齢者学級	対象者	高齢者
学習・研修内容	防災安全研修会		
映像教材名	「生きる行動生きる備え」	種類・時間	DVD 22分
映像教材の概要	東日本大震災の教訓から、自助・共助の重要性や災害から命を守るためには、瞬時にどう判断し、行動したらよいかを具体的に学ぶ。		
教材借用先等	県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>1 問題提起</p> <p>(1) 阪神淡路大震災や東日本大震災の教訓から、私たちは災害時の危険を予測できますか。</p> <p>(2) 視聴時に南太平洋のソロモン諸島で2月6日に発生した地震・津波の被害がテレビ放映されており、震災に備えて、自分たちで普段から何ができますか。</p> <p>2 映像教材視聴 「生きる行動生きる備え」</p> <p>3 意見交換</p> <p>(1) 高齢者なので、動けるうちはよいが、動けなくなったときにどのようにしたらよいのか。</p> <p>(2) 津波がない地域だが、火災や家具転倒から命を守るため、普段から危険を回避できるようにしておくことが必要。</p> <p>(3) 地域の行事に参加してコミュニケーションを図らなければならない。</p> <p>4 学習のまとめ</p> <p>(1) 危険箇所の点検をしておく。</p> <p>(2) 一人一人が自然災害に関する理解を深め、災害時の危険を予測・判断し、危険を回避できる能力を身に付ける。</p> <p>(3) 日頃から近隣住民とコミュニケーションを図る。</p>		
成果・課題	<p>1 成果</p> <p>高齢者学級に参加されている方々が、地震の備えについて何が必要なのかを改めて考えてもらうよい機会となった。</p> <p>2 課題</p> <p>学習のまとめを視聴者がどの程度実践できているのか、今後も高齢者学級に防災等の内容を取り入れていきたい。</p>		



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	鹿屋市教育委員会		
学習・研修会名	鹿屋市教頭研修会	対象者	教頭
学習・研修内容	拉致被害者問題についての学習		
映像教材名	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」	種類・時間	DVD 25分
映像教材の概要	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメ。		
教材借用先等	鹿屋市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題提起 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間経過による拉致問題に関する関心の希薄化 ・ 学校における取組の意義 2 映像視聴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」 3 講話 <p>講師 拉致被害者家族 市川健一・龍子夫妻</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拉致問題対策について危惧すること ・ 拉致被害者並びに残された家族の苦悩 ・ 問題解決への願い（市民・学校の協力） 4 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校職員の拉致問題に対する意識について ・ 学校での拉致問題への取組について ・ 児童生徒の拉致問題に対する意識について 5 学習のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 拉致問題の早期解決に向けて全校で高い意識をもった取組が必要 ・ 関心の希薄化を防ぐために継続的な取組が必要 ・ 職員・児童生徒のみならず家族・地域等と連携した取組が必要 		
成果・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 成果 <p>映像と講話により、心情に強く訴え、より具体的に課題を理解し解決に向けた取組の推進に資することができた。</p> 2 課題 <p>視聴に留まることなく、研修をより具体的に還元できるようにしたい。</p> 		



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	垂水地区公民館		
学習・研修会名	高齢者大学	対象者	高齢者
学習・研修内容	高齢者大学人権研修会・閉講式		
映像教材名	「ひとみ輝くとき」	種類・時間	DVD・35分
映像教材の概要	<p>子どもの世界で起こっている，いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え，子どもを家庭・学校・地域社会が協力し合って支えていく社会の形成を願う。</p> <p>いじめの責任は加害者だけにあるのか？学校・家庭・地域が一体となってこの問題に取り組み，クラス全員で話し合い，ほとんどの生徒たちが仲裁者ではなく，傍観者や観衆であることに気づいていく。</p>		
教材借用先等	垂水市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>垂水地区公民会長あいさつ</p> <p>公民館主事の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材について ・ 「いじめ」について <p>視聴覚教材の視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『ひとみ輝くとき』 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換 <p>閉講式</p>		
成果・課題	<p>教材の視聴により，人権について深く考える機会となった。</p> <p>いじめについては，学校だけの問題ではなく，地域の人々が子どもたちに声かけを行うことで，発見・予防につながると再認識できた。</p> <p>参加者全員で，地域で子どもを守り育てていくことを確認できた。</p>		



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	錦江町教育委員会		
学習・研修会名	ふれあい学級	対象者	高齢者
学習・研修内容	高齢者の健康教室		
映像教材名	「中高年のための健康教室 老後をすこやかに過ごすために」	種類・時間	DVD 19分
映像教材の概要	ガン，脳卒中，心臓病，これらの病気は，生活習慣病の代表的なものである。すこやかな健康長寿をめざすために，どのような心構えと具体的な実践行動していくかを伝えている。		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>1 問題提起</p> <p>(1) 生活習慣病は何がありますか。</p> <p>(2) 何が原因か知っていますか。</p> <p>2 映像教材視聴</p> <p>「中高年のための健康教室 老後をすこやかに過ごすために」 高齢者の熱中症について学習し，健やかな健康長寿を意識した生活をおくれるようにする。</p> <p>3 学習のまとめ</p> <p>(1) 自分の生活との比較</p> <p>(2) 予防と対策の確認</p>		
成果・課題	<p>1 成果</p> <p>生活習慣病の予防，対処法についての具体的な知識を得ることができた。</p> <p>2 課題</p> <p>実際に生活習慣病になった場合に，実践できる知識を継続して喚起することが大切である。</p>		



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	中種子町立星原小学校		
学習・研修会名	人権集会	対象者	全校児童
学習・研修内容	人権について映像視聴や話し合い体験活動等を通して考える集会		
映像教材名	「ありがとう」	種類・時間	VTR・20分
映像教材の概要	自分のわがままから親友と仲たがいき、次第に後悔して悩む少女といつも声を掛けて温かく見守ってくれるおばちゃんとの交流を通して、少女が友情を取り戻す中で大切なことを学んでいくという内容。		
教材借用先等	西之表市立視聴覚ライブラリー（中種子町立視聴覚ライブラリー経由）		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 はじめの言葉（進行：総務委員会） 2 歌「友達になるために」 3 めあての発表 <ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良くするためには、どのような気持ちや態度が大切か考えよう。 4 思いやりの花 <ol style="list-style-type: none"> (1) 互いのよいところを紙に書いて、みんなの前で発表し合う。 (2) 全員が発表したものを、一枚の広幅用紙に貼り付ける。（集会後、廊下に掲示） 5 VTR「ありがとう」の視聴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教師の話を聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・本当に仲良くできているか、言葉や態度で相手を傷つけてはいないか、投げかけ、VTRを視聴後、考えたことを互いに発表し合うことを伝える。 (2) VTR視聴後、教師の進行で意見交換をする。 6 体験を通して目や耳の不自由な方への理解を深める。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 様々な人権問題について教師の話を聴く。 (2) アイマスク体験やヘッドホンを使った耳の不自由な方の体験をする。 7 校長先生の話を聴く。 		
	成果・課題	<p>< 成果 > 事前に係を中心とした数名で、複数のVTRを視聴し、現在の本校児童の実態にあった内容を選定したので、児童には身近な問題としてとらえさせることができた。さらにVTR視聴後、意見交換を行い、自分たちのことと照らし合わせながら考えさせることができた。</p> <p>< 課題 > 今後も映像教材を視聴させる際は、視聴の視点や話し合いの進め方等を明確に示すようにしていく。また、集会や行事等だけでなく、授業においても映像教材の効果的な活用を積極的に図っていけるようにしたい。</p>	



VTR視聴の様子



視聴後の意見交換

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	中種子町立油久小学校		
学習・研修会名	地震・津波想定避難訓練	対象者	児童・職員
学習・研修内容	地震・津波の発生を想定した避難訓練での事後学習		
映像教材名	「津波からにげる」	種類・時間	DVD・17分
映像教材の概要	<p>アニメーションやクイズ等を通して、津波の現象を理解し、今後の津波による被害の軽減を目的に構成されている。</p> <p>また、将来への記録として東日本大震災における津波映像が収められている。</p>		
教材借用先等	西之表市立視聴覚ライブラリー（中種子町立視聴覚ライブラリー経由）		
映像教材活用の実際	<p>1 避難の実際</p> <p>(1) 放送による連絡・第一次避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓や出入り口を開ける。 ・ 机の下に隠れる。 ・ 教室の中央に集まる。 <p>(2) 放送による連絡・第二次避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下に整列し、避難場所へ移動する。 ・ 人数を確認し報告する。 <p>(3) 避難方法確認後、帰校</p>	 <p style="text-align: center;">避難の実際</p>	
	<p>2 映像教材視聴</p> <p>「DVD：津波からにげる」</p> <p>3 意見交換</p> <p>(1) 初めて知ったことは何ですか。</p> <p>(2) もしも自分たちの身近で起こったとしたらどうすればよいでしょうか。</p> <p>4 教諭による講話</p> <p>「被災地を見て」</p> <p style="padding-left: 20px;">中央研修中、現地へ行って感じたことを中心に児童へ話す。</p> <p>5 まとめと校長先生のお話</p> <p>6 各学級での事後指導</p>		
成果・課題	<p>1 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単に避難させるだけでなく、避難の意味や避難上の留意事項を総合的に整理・実感させることができた。このことで、もしもの場合への意識を高めさせることができ、有意義な訓練となった。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1単位時間（45分）の授業として考えると、やや時間不足である。より効率的に実施できるようにしたい。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	宇検村立久志中学校		
学習・研修会名	人権教室（特別活動）	対象者	生徒 4 人
学習・研修内容	人権に関する学習		
映像教材名	「私たちの人権宣言 転校生はおばあちゃん!？」	種類・時間	DVD・60分
映像教材の概要	<p>中学2年生の主人公のクラスに、坂野ウメという74歳のおばあさんが転校してくる。大きく年の離れた転校生となかなか打ちとけられない主人公たち。</p> <p>そんなある日、ウメさんの戦争時代のつらい体験の話聞いたことが、「世界人権宣言」や「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」についてみんなで考えるきっかけとなる。そして、ウメさんに聞いた話を劇化し、文化祭で発表する。</p>		
教材借用先等	奄美人権擁護委員協議会事務局		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 人権について、教師の話聞く。 2 映像教材を視聴する。 「私たちの人権宣言 転校生はおばあちゃん!？」 3 意見交換 4 感想記入によるまとめ (主な感想) <ul style="list-style-type: none"> ○ このビデオを視聴して、自分は「人の人権を傷つけたことはないかな。」と何度も考えた。すると、いくつか、あれはやっていけなかったと思うことがあった。 ○ 自分は冗談半分にやっていることでも、相手は自分が考えている以上に心に深い傷を追うことになることがあるのだと思った。 ○ 自分でできてしまっていた人権侵害に、自分で気付くことができた主人公たちは、すごいと思った。わたしもこれから、自分が人権侵害をしていないかについて時々考えてみたいと思った。 ○ どうして人をいじめるのだろうか。自分が逆の立場になったらどういう気持ちになるのだろうか。いじめも差別の一つだと思う。 ○ 自分を大切にすることも大事なことだが、他人を大切にすることも大事だと思った。 		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 成果 <ul style="list-style-type: none"> ○ 同年代の主人公が人権の大切さや身近な人権侵害について気付き、成長していく様子を、自分たちと重ねて視聴することができた。 ○ 人権やいじめについて深く考えるきっかけとなり、これまでの自分の言動を振り返ったり、これからどうしていったらよいかを考えたりする感想が数多く書かれていた。 <ol style="list-style-type: none"> 2 課題 <ul style="list-style-type: none"> ○ この映像教材視聴をきっかけとして、深まった人権意識を、今後の学校生活だけでなく、地域社会の中でも生かせるような指導を心がけていく。 		